

2017年度輔仁大学日本語文学科・台湾日本語文学会国際学術シンポジウム
「社会的役割を果たす日本語文学研究の推進」

研究発表者募集

主旨：世界的に経済的な競争が激しさを増し、新自由主義が横行する中、日本、台湾を問わず文系の学問は大きな岐路に立たされている。日本では、スーパーグローバル大学指定校の多くで、文学部を中心とする学科再編成や新学科の設立などが実施され、従来とは異なる知の体系が求められている。一方、台湾では、諸大学の文系の学部・学科に対する政府からの直接的な働きかけは今のところは見られない。とはいえ、日本同様、台湾でも文系は少子高齢化のあおりを受けて難しい経営を迫られている。そしてこれは、日本語関連学科も例外ではない。こうした状況の中、日本の語学・文学・文化研究に求められているものは、社会との実質的なつながりである。学術として利害にとらわれない純粋性を保ちつつ、いかにして社会に貢献できる成果をあげていくか。これが現在、文系研究者に、ひいては台湾において日本関連研究に携わる者に課せられた課題である。

本シンポジウムは、上記のような問題意識のもと、研究者間の対話を通じて、台湾における日本研究にどのような社会的役割があるのか、あるいは、いかにしてそのような役割を強化させていくかを追究し、共通理解を深化させていこうとする試みである。

関係領域：日本語文学、日本語教育、日本関連研究に関わる諸研究領域

主催：輔仁大学日本語文学科、台湾日本語文学会

会場：輔仁大学

日程：2017年12月16日（土）

発表方法：

- (1) 使用言語：(原則として) 日本語
- (2) 発表費用：会員一無料、非会員一1,000 元
- (3) 発表時間：
 - A. 口頭発表：一人 30 分（口頭発表 20 分、質疑応答 5-10 分）
 - B. ポスター発表：ポスターセッションの間にポスター論文を掲示し、ポスター前にて発表を行います。
- (4) 申込方法：E-mail
「発表申込用紙」（添付資料一）にご記入のうえ、メールで下記のアドレスまでお送りください。taiwan_nichigo2015@yahoo.co.jp
- (5) 書式は添付資料二を参照してください。
- (6) 申込期限：**2017年3月15日【必着】**
- (7) お問い合わせ先：

輔仁大学日本語文学科（新北市新莊区中正路 510 号）

G24@mail.fju.edu.tw / +886-2-2905-2596 FAX : +886-2-2905-2169 陳秘書

台湾日本語文学会

taiwan_nichigo2015@yahoo.co.jp 秘書処

- (8) 当学科で編成した審査委員会にて要旨を審査させていただくため、場合によっては発表テーマの変更などをお願いすることがありますが、ご了承ください。審査の結果につきましては、**4月30日**までに通知いたします。なお、予稿の締め切りは**10月15日**となります。